

令和6年2月28日

保護者様

稲沢市立領内小学校長
五十住 健吾

「教育活動に関するアンケート」結果について（お知らせ）

早春の候、皆様方にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、10月と1月に実施した「教育活動に関するアンケート」では、多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。その結果を下記のようにまとめましたので、ご報告いたします。今後、この結果をもとに、保護者の皆様、地域の方々とともに、よりよい学校運営を目指していきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

[設問について]

設問は、「Ⅰ 学校運営」「Ⅱ 学校教育」「Ⅲ 生活指導」の全16問、評価は、「とても思う」「まあまあ思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階でお願いしました。

保護者の皆様には、多くの項目で「とても思う」「まあまあ思う」を選択していただきました。本校の教育活動について概ねご理解いただいていると受け止めております。

Ⅰ 学校運営について《アンケート1～5》

どの設問についても全般的に高い評価をいただきました。特に、設問4「早朝・夜間の電話対応等の制限（緊急時を除く）や、行事・会議の精選等、学校が健全な心身で子どもたちと向き合うために働き方改革をしていることを理解している」と、設問5「学校・地域・保護者が、学習環境整備や見守り活動、PTAやおやじの会の取組等を通して連携し、活動していることを理解している」において、高い評価をいただきました。設問4については、保護者の皆様のご理解・ご協力により、児童と向き合うための準備に集中して取り組む時間の確保ができてきていると感じています。設問5については、スクールガード、PTA、おやじの会、学校支援ボランティア等、日頃から大変多くの方のご支援をいただきながら、教育活動を行っております。学校支援ボランティアについては、2月現在、約30名ほどの方の登録があり、家庭科や図画工作科の学習補助、校外学習の付き添い、図書修繕などにご協力いただいています。今後、各組織の活動内容をより多くの方にご理解していただき、更にご支援をいただけるよう努めていきます。また、ホームページや便り等で新しい情報をどんどん発信し、社会・地域に開かれた魅力ある学校づくりをしていきます。

■ とても思う ■ まあまあ思う ■ あまり思わない ■ まったく思わない ■ 無回答

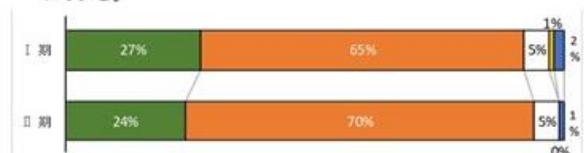
1. 学校は、地域・家庭と連携した教育活動に、積極的に取り組んでいる。



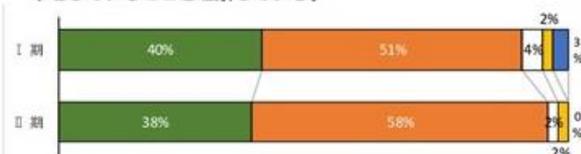
2. 学校は、連絡帳や電話連絡、懇談会等を通して、保護者や地域の方と信頼関係を築こうと努めている。



3. 学校は、ガイドラインに基づき、熱中症や感染症拡大防止への対応等、子どもたちが安心して安全な生活が送れるように環境整備を行っている。



4. 早朝・夜間の電話対応等の制限（緊急時を除く）や、行事・会議の精選等、学校が健全な心身で子どもたちと向き合うために働き方改革をしていることを理解している。



5. 学校・地域・保護者が、学習環境整備や見守り活動、PTAやおやじの会の取組等を通して連携し、活動していることを理解している。



II 学校教育について《アンケート6～10》

設問6「学校は、問題解決的な学習やグループ学習等を通して、友達とともに助け合って学ぼうとする子どもの育成に努めている」では、肯定的評価が97%という高い評価をいただきました。今後も、学習過程を工夫し、主体的に学びに向かう姿勢が子どもたちに身に付くように努めていきます。また、設問7「学校は、授業でICT機器（タブレットPCを含む）を活用する等、子どもたちにとって分かりやすい授業づくりに努めている」についても、高い評価をいただきました。今後もICT機器を授業で効果的に活用し、視聴覚的な教材で理解できるようにしたり、ICTの基礎スキルの習得をさせたりしていきます。

設問8「学校は、自他の命を大切にする心や、人を思いやる優しい心を子どもたちに育むよう努めている」、設問10「学校は、日々の観察や教育相談等で子どもたちのことをよく理解し、一人一人を大切にされた適切な対応に努めている」についても、90%の肯定的評価をいただきました。これからも、道徳の時間を中心に教育活動のあらゆる場面で子どもたちの豊かな心の育成に努めるとともに、より一層個に応じた丁寧で温かい対応に努めていきます。

設問9「学校は、体験活動や地域交流等の実施により、地域の方とふれあい、地域の方から学ぶ機会を大切にし、ふるさとを愛する心や感謝する心を育てることに努めている」については、様々な面で地域からの協力が得られる恵まれた環境のありがたさに感謝し、自分の周りの人を大切にし、「ふるさと領内」を愛する心を育ていけるように、地域に住む人々の願いや思いに触れる機会を設定し、地域学習を進めています。今後も体験活動や地域交流等の機会を大切にし、子どもたちの郷土愛や愛校心を育てていきたいと思ひます。

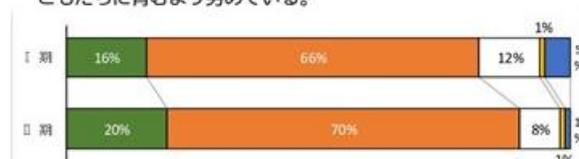
6. 学校は、問題解決的な学習やグループ学習等を通して、友達とともに助け合って学ぼうとする子どもの育成に努めている。



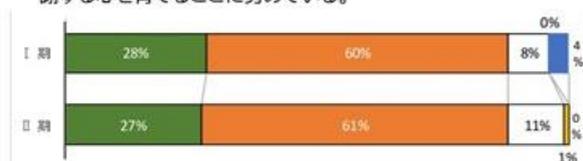
7. 学校は、授業でICT機器（タブレットPCを含む）を活用する等、子どもたちにとって分かりやすい授業づくりに努めている。



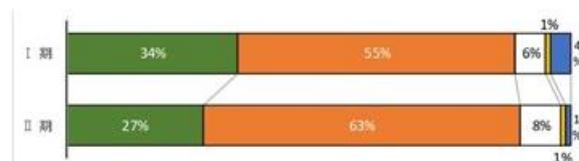
8. 学校は、自他の命を大切にする心や、人を思いやる優しい心を子どもたちに育むよう努めている。



9. 学校は、体験活動や地域交流等の実施により、地域の方とふれあい、地域の方から学ぶ機会を大切にし、ふるさとを愛する心や感謝する心を育てることに努めている。



10. 学校は、日々の観察や教育相談等で子どもたちのことをよく理解し、一人一人を大切にされた適切な対応に努めている。



III 生活指導について《アンケート11～16》

設問11「子どもたちは、友達と仲良く生活し、楽しく学校に通っている」、設問13「子どもたちは、集団生活に必要なきまりや約束を守っている」については、非常に高い評価をいただきました。これからも友達と協働する場面を設定し、人と関わる楽しさを味わわせるとともに、きまりや約束の大切さを学ばせていきたいと思ひます。

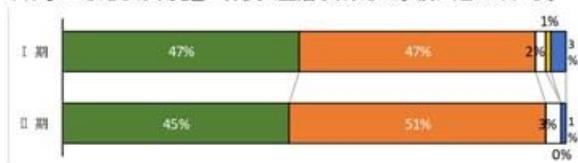
一方、設問12、設問15については、他の項目に比べて、低い評価となりました。特に設問15「子どもたちは、時間を決めてゲーム機やスマホを使う等、ご家庭での使い方の約束を守って規則正しい生活をしている」における肯定的な評価は62%にとどまっています。これについては、子どもたちの健やかな成長のために、学校でもゲーム機やスマートフォン等の使い方について声をかけていきたいと思ひます。また、設問12「子どもたちは、気持ちのよい挨拶や返事ができる」については、登下校時に子どもたちに挨拶をしてくださるスクールガードの方々や交通指導の保護者の方々と連携したり、児童会が中心となって挨拶キャンペーンを

行ったりして、挨拶への意識向上を図っています。今後も、挨拶の意義を児童に考えさせながら、学校、保護者、地域で気持ちのよい挨拶や返事ができる子を育てていきたいと思ひます。

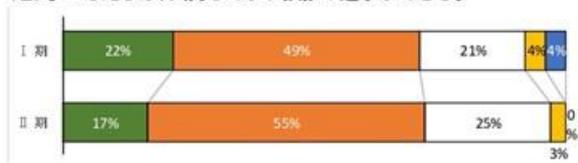
設問14「子どもたちは、図書館やふるさと文庫の活用や読み聞かせ等の機会を通して、読書に親しんでいる」については、Ⅱ期で肯定的評価が下がってしまいました。図書委員会による取り組みの更なる充実を図ったり、PTA保健環境委員会や図書館司書補と連携したりして、引き続き学校図書館やふるさと文庫の整備に努め、魅力ある図書館づくりを推進していきます。

設問16「子どもたちは、自分自身の健康や安全生活について考え、命を守る行動をとるよう心がけて生活している」については、Ⅱ期では10%以上肯定的評価が上がりました。今後も、避難訓練や不審者対応訓練などを通して、子どもたちが自分自身の健康や安全生活について考え、危険予知・危機回避等の力が身に付くよう、安全教育・防災教育に力を入れていきます。

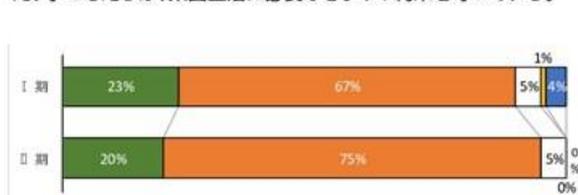
11. 子どもたちは、友達と仲良く生活し、楽しく学校に通っている。



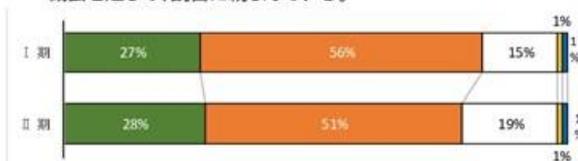
12. 子どもたちは、気持ちのよい挨拶や返事ができる。



13. 子どもたちは、集団生活に必要なきまりや約束を守っている。



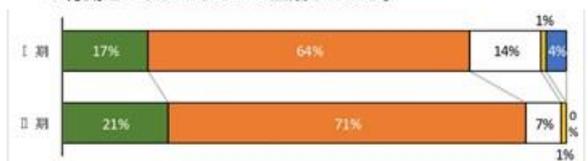
14. 子どもたちは、図書館やふるさと文庫の活用や読み聞かせ等の機会を通して、読書に親しんでいる。



15. 子どもたちは、時間を決めてゲーム機やスマホを使う等、ご家庭での使い方の約束を守って規則正しい生活をしている。



16. 子どもたちは、自分自身の健康や安全生活について考え、命を守る行動をとるよう心がけて生活している。



IV 育っている力・育てたい力や必要な取組について

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。アンケートでいただいたご意見の一部を別紙にまとめさせていただきましたので、ご覧ください。いただいたご意見は職員で話し合うとともに学校運営協議会でも話し合い、今後の学校運営に生かしてまいります。

今後も「開かれた学校」「信頼される学校」づくりに努めるとともに、学校、保護者、地域が連携し、領内っ子を育てていきます。引き続きご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。